

## ○インドネシア語学研究 降幡 正志（通年開講）

（月曜2限）インドネシア語文法研究

授業の目標・内容・計画

インドネシア語の文法に関する文献を読み、諸問題について検討していく。

教材・参考書等

受講者と相談して決定する。

成績評価の方法

平常点およびレポート。

履修上の注意

---

## ○インドネシア文学研究 スディビヨ（通年開講）

（火曜4限）PENGANTAR SASTRA INDONESIA

授業の目標・内容・計画

Mahasiswa dapat memahami sejarah perkembangan kesusastraan Indonesia dan dapat mengenali ciri-ciri masing-masing periodisasi kesusastraan.

Garis besar rencana perkuliahan sebagai berikut:

- a. Konsep sastra dalam tradisi sastra Indonesia
- b. Pembabakan kesusastraan Indonesia: klasik dan moderen
- c. Ruang lingkup dan ciri-ciri kesusastraan Indonesia klasik
  1. Kesusastraan rakyat
  2. Kesusastraan Indonesia dan kesusastraan Sansekerta
  3. Kesusastraan Indonesia dan Persia
  4. Kesusastraan Arab
- d. Kesusastraan pra Indonesia: Sastra Cina peranakan dan sastra Hindia-Belanda
- e. Kesusastraan Indonesia Modern:
  1. Angkatan Balai Pustaka
  2. Angkatan Pujangga Baru
  3. Angkatan 45
  4. Angkatan 66
- f. Kesusastraan Kontemporer Indonesia
- g. Hasil karya sastra Indonesia

教材・参考書等

1. A. Teeuw, *Sastra dan Ilmu Sastra (Pengantar Ilmu Sastra)*, Jakarta : Pustaka Jaya
2. Liaw Yock Fang, *Sejarah kesusastraan Melayu Klasik*, Singapura: Pustaka Nasional
3. Faruk, *Novel-novel Indonesia; tradisi balai Pustaka 1920*, Yogyakarta: Gama Media.
4. HB Yassin, *Kesusastraan Indonesia Modern dalam kritik dan Esai I, II, III, dan IV*. Jakarta: Gramedia.
5. HB Yassin, *Angkatan 66 Prosa dan Puisi*. Jakarta :Gunung Agung.
6. Jakob Sumardjo, *Sinopsis Roman Indonesia*. Bandung: Citra Aditya Bakti
7. Subagio Sastrawardoyo, *Sastra Hindia Belanda dan Kita*. Jakarta : Balai Pustaka.

成績評価の方法

Ujian tertulis, kehadiran kuliah (aktif dalam kuliah), membuat pekerjaan rumah dalam bentuk makalah (menelaah salah satu karya sastra), diskusi.

#### 履修上の注意

Rajin menghadiri kuliah, aktif dalam mengikuti kuliah/diskusi (menyampaikan pendapat), rajin mengerjakan pekerjaan rumah tentang telaah sastra.

---

### ○マレーシア語学研究 正保 勇（通年開講）

（火曜4限）マレーシア語統辞論

#### 授業の目標・内容・計画

マレーシア語文法に於ける問題点とその解決法を、現代言語学、主として生成変形文法の視点から探る。授業では、主として、*Jurnal Dewan Bahasa* に掲載された論文の購読を行い、現在の研究の動向を掴むと共に、諸問題の解決法を摸索する。更に、そうして得られた解決法の妥当性を、マレーシア語の新聞、現代の文学作品その他のコーパスに広く当たって検証する。

#### 教材・参考書等

*Jurnal Dewan Bahasa* , *Pelita Bahasa* に掲載されている論文を中心に講読するが、併せて、現代言語学に於ける成果に就いても関連論文の購読を通じて俯瞰する。

#### 成績評価の方法

論文講読に於ける評価と、論文講読の終了時に提出してもらう研究報告（問題となる文法現象に対する解決策とその検証に関する）の双方を勘案して総合的に評価する。

#### 履修上の注意

---

### ○フィリピン語学研究 山下 美知子（通年開講）

（月曜2限）

#### 授業の目標・内容・計画

現在フィリピンが抱えている様々な問題、歴史や文化を扱った新聞や雑誌、論文を読み、タガログ語の語彙や語法を深めると共に、これらの問題に関して研究発表をする。

#### 教材・参考書等

必要に応じ、コピーを配布する。

#### 成績評価の方法

出席状況と発表、レポートにより総合評価する。

#### 履修上の注意

---

### ○タイ語学研究 ウィチャイ ピアンヌコチョン（通年開講）

（金曜4限）タイ語の文法研究

#### 授業の目標・内容・計画

ศึกษาวិเคราะห์ภาษาไทยเปรียบเทียบกับภาษาญี่ปุ่น  
ทั้งในด้านไวยากรณ์และสำนวนต่าง ๆ

#### 教材・参考書等

ใช้ผลงานวิจัย วิทยานิพนธ์ ฯลฯ มาเป็นข้อมูลพื้นฐาน  
ประกอบการศึกษาวิเคราะห์

#### 成績評価の方法

ประเมินผลจากรายงานในชั้นเรียน

#### 履修上の注意

曜日・時間の変更することが可能です。

---

### ○タイ文学研究 宇戸 清治（通年開講）

（火曜5限）現代タイ文学論

#### 授業の目標・内容・計画

タイ人研究者によるタイ文学研究史の要諦をおさえたうえで、現代の主要作家の作品と思想を分析する。タイ文学研究方法論構築の第一歩を踏み出すことを目標とする。多量のタイ語ないし関連文献を読むことになる。

#### 教材・参考書等

必要に応じてプリントを配布し、参考文献を指示する。

#### 成績評価の方法

研究発表のレベルとレポートの成績で評価する。

#### 履修上の注意

タイ文学の基礎知識のある者を対象とする。

---

### ○タイ文学演習 宇戸 清治（通年開講）

（金曜2限）タイ古典文学演習

#### 授業の目標・内容・計画

タイ古典文学に関する研究論文を講読する。

#### 教材・参考書等

教材はプリント配布する。参考文献は授業時に指示する。

#### 成績評価の方法

平常点とレポートの成績で評価する。

#### 履修上の注意

タイ古典文学の基礎知識のあるものとする。

---

### ○ラオス語学研究 鈴木 玲子（1学期開講・2学期開講）

（1学期）

（金曜2限）ラオス語文法研究Ⅰ

#### 授業の目標・内容・計画

現代ラオ語に関する論文、およびその内容に関連する他の言語の論文を精読・討論する。

#### 教材・参考書等

テキストは随時、プリントを配布する。

#### 成績評価の方法

口頭発表、レポートにより総合評価する。

#### 履修上の注意

積極的な討論や質疑が求められる。

（2学期）

（金曜2限）ラオス語文法研究Ⅱ

#### 授業の目標・内容・計画

現代ラオ語に関する論文、およびその内容に関連する他の言語の論文を精読・討論する。

#### 教材・参考書等

テキストは随時、プリントを配布する。

#### 成績評価の方法

口頭発表、レポートにより総合評価する。

#### 履修上の注意

積極的な討論や質疑が求められる。

---

## ○ラオス語学演習 鈴木 玲子（1学期開講・2学期開講）

### （1学期）

#### （金曜3限）ラオス語学演習Ⅰ

#### 授業の目標・内容・計画

現代ラオ語の文法について、受講者の研究テーマに応じて一つ課題を設定し、研究内容と成果を報告する。

#### 教材・参考書等

テキストは随時、プリントを配布する。

#### 成績評価の方法

口頭発表、レポートにより総合評価する。

#### 履修上の注意

積極的な討論や質疑が求められる。

### （2学期）

#### （金曜3限）ラオス語学演習Ⅱ

#### 授業の目標・内容・計画

現代ラオ語の文法について、受講者の研究テーマに応じて一つ課題を設定し、研究内容と成果を報告する。

#### 教材・参考書等

テキストは随時、プリントを配布する。

#### 成績評価の方法

口頭発表、レポートにより総合評価する。

#### 履修上の注意

積極的な討論や質疑が求められる。

---

## ○ラオス文学研究 ブンニョー・ポムマブット（1学期開講・2学期開講）

### （1学期）

#### （木曜1限）ラオスの儀礼文化Ⅰ

#### 授業の目標・内容・計画

ラオスの伝統的な儀礼に関する論文や書籍を精読し、討論する。

#### 教材・参考書等

テキストは随時、プリントを配布する。

#### 成績評価の方法

口頭発表、レポートにより総合評価する。

#### 履修上の注意

講義はラオス語で行う。

### （2学期）

#### （木曜1限）ラオスの儀礼文化Ⅱ

#### 授業の目標・内容・計画

ラオスの伝統的な儀礼に関する論文や書籍を精読し、討論する。

#### 教材・参考書等

テキストは随時、プリントを配布する。

#### 成績評価の方法

口頭発表、レポートにより総合評価する。

#### 履修上の注意

講義はラオス語で行う。

---

### ○ベトナム語学研究 宇根 祥夫（1学期開講・2学期開講）

（月曜1限）ベトナム語文法研究1・2

#### 授業の目標・内容・計画

ベトナム語法関係の文献を読み検討する。随時、テーマを決めて報告してもらう。

#### 教材・参考書等

テキストはプリントを配付する。参考文献はその都度指示する。

#### 成績評価の方法

平常点と報告により総合的に評価する。

#### 履修上の注意

明確な問題意識を持って来ることが望まれる。

---

### ○ベトナム語学演習 宇根 祥夫（1学期開講・2学期開講）

（水曜1限）ベトナム語購読1・2

#### 授業の目標・内容・計画

ベトナム語学に関する論文を読み、ベトナム語の表現と文の構造について考察する。

#### 教材・参考書等

テキストはプリントを配付する。参考文献はその都度指示する。

#### 成績評価の方法

出席状況と定期試験により総合評価する。

#### 履修上の注意

明確な問題意識を持って来ることが望まれる。

---

### ○ベトナム文学研究 川口 健一（通年開講）

（金曜4限）ベトナム近・現代文学研究

#### 授業の目標・内容・計画

講読を中心にすすめる。バオ・ニン、ブイ・ゴック・タン その他現代作家の作品を取り上げる。

#### 教材・参考書等

プリント配布

#### 成績評価の方法

割り当て発表、課題提出により行う。

#### 履修上の注意

---

## ○カンボジア語学研究 上田 広美（1学期開講・2学期開講）

（木曜2限）Ramakerti 語彙研究1・2

### 授業の目標・内容・計画

Ramakerti に関する諸文献を批判的に読み、Ramakerti の語彙について検討する。1学期は先行研究の文献を読み、2学期はテキスト本文を資料として検討する。

### 教材・参考書等

Saveros Pou, "Etudes sur le Ramakerti", RBA, "Ramakerti", 仏教研究所編 "Ramakerti".

### 成績評価の方法

出席、授業への貢献度、提出課題。

### 履修上の注意

カンボジア語の散文・韻文が読めること。更にフランス語が読めれば望ましい。授業への積極的な貢献が必要。

---

## ○カンボジア語学演習 上田 広美（1学期開講・2学期開講）

（火曜5限）Nagara Watta 語彙研究1・2

### 授業の目標・内容・計画

Nagara Watta と Rasmei Kampuchea を資料とし、Khemarayanakamma による語彙の創出がどのように変遷し、どの程度定着したかを検討する。1学期はNagara Watta の語彙を、2学期はRasmei Kampuchea の語彙を扱う。

### 教材・参考書等

"Nagara Watta", "Rasmei Kampuchea", "Khemarayanakamma"他。

### 成績評価の方法

出席、授業への貢献度、提出課題。

### 履修上の注意

カンボジア語の散文が読めること。更にフランス語が読めれば望ましい。授業への積極的な貢献が必要。

---

## ○カンボジア文学研究 岡田 知子（1学期開講・2学期開講）

（金曜2限）カンボジア文化研究1・2

### 授業の目標・内容・計画

カンボジアでは、1975年～1979年のポル・ポト政権に伝統的文化の破壊が行われ、人材、文化財などが失われた。それは現在のカンボジアにも非常に多くの影響を与えている。人々がどのような体験をし、それをどのように感じたのかをカンボジア語資料を読み検討する。

### 教材・参考書等

1学期は、Om Somvath, Kar Cak Caol Di Krong、2学期は、the Documentation Center of Cambodia, Kar Pit を読む。

### 成績評価の方法

出席状況、発表、レポートにより総合的に評価する。

### 履修上の注意

予習は不可欠。

---

## ○カンボジア文学演習 岡田 知子（1学期開講・2学期開講）

（金曜4限）カンボジア文学文献講読1・2

### 授業の目標・内容・計画

カンボジア文学に関する論文を批判的に読み、そこで扱われている作品にもあたってディスカッションを行う。適宜発表を課す。

教材・参考書等

Klairung Amratisha, The Cambodian Novel : A Study of its Emergence and Development, Khing Hoc Dy, Qaksarsastra Khmaer, Khing Hoc Dy, Contribution a l'histoire de la Litterature Khmère 他。

成績評価の方法

出席状況、発表、レポートにより総合的に評価する。

履修上の注意

予習は不可欠。

---

## ○ビルマ文学研究 フライン ウェー ウェー フラ（1学期開講・2学期開講）

（1学期）

（木曜1限）ビルマ語・ビルマ文学研究(1)

授業の目標・内容・計画

ビルマ文学(散文、詩)の研究を通し、ビルマ語の書き言葉の歴史、修辞法について学ぶ。

教材・参考書等

テキストは開講時、プリントにして配布する。

成績評価の方法

通常の受講姿勢と学期末のレポートを通じて総合的に評価する。

履修上の注意

（2学期）

（木曜1限）ビルマ語・ビルマ文学研究(2)

授業の目標・内容・計画

ビルマ文学(散文、詩)の研究を通し、ビルマ語の書き言葉の歴史、修辞法について学ぶ。

教材・参考書等

テキストは開講時、プリントにして配布する。

成績評価の方法

通常の受講姿勢と学期末のレポートを通じて総合的に評価する。

履修上の注意

---

## ○アジア第二言語比較研究 山下 美知子（通年開講）

（月曜4限）

授業の目標・内容・計画

フィリピンで使われている100余りの言語のうち、幾つかの主要言語を比較研究することで、フィリピン言語の特徴を学ぶ。

教材・参考書等

テキストは開講時に指示する。

成績評価の方法

出席状況と発表により評価する。

履修上の注意

## ○アジア第二文化特殊研究 川口 健一（1学期開講）

（金曜2限）

授業の目標・内容・計画

教材・参考書等

成績評価の方法

履修上の注意

---

## ○アジア第二文化特殊研究 宇戸 清治（2学期開講）

（水曜2限）タイと東南アジアの文学

授業の目標・内容・計画

タイおよび他の東南アジア地域の文学状況を主として以下のテキストを使用しつつ、受講生の専攻地域・分野にも配慮した資料を配布し、演習形式で授業を行う。当該地域における表象文化の異同について歴史的理解と修論につながる問題意識を育てることを目標とする。英語文献を多用する。

教材・参考書等

C.Nagarajana, Comparative Literature from a Thai  
Perspective-Collected Articles 1978-1992,  
Chulalongkorn Univ.,1996.

他の教材は随時プリントで配布する。

成績評価の方法

発表とレポートの成績を総合的に評価する。

履修上の注意

1学期の川口教官を受講してはじめて4単位となる。

---

## ○アジア歴史文化論Ⅱ 青山 亨（通年開講）

（水曜2限）インドネシア前近代史研究1・2

授業の目標・内容・計画

受講生の関心も考慮しつつテーマを絞って複数の論文を読む。取り上げる対象には歴史学のみならず、人類学、宗教学、文学、芸術などの分野を含む。

教材・参考書等

テキストは開講時に指示する。

成績評価の方法

クラスでの発表、討論への参加、レポートの内容に基づいて総合的に評価する。

履修上の注意

とくになし。

---

## ○アジア歴史文化論Ⅱ 小川 英文（1学期開講・2学期開講）

（1学期）

（金曜5限）東南アジア考古学1

### 授業の目標・内容・計画

目標：東南アジア考古学の現場で考古学者が生成する過去表象がどのような政治的問題を引き起こしているかを検討するなかで、考古学の可能性としての新たな問題群の設定と分析手法の模索を目的とする。

内容・計画：東南アジア考古学において、日本人考古学者が東南アジアの先史時代をどのように表象し、再構成してきたかという問題について、日本・東南アジア双方のテキスト批判をとうして、日本人として東南アジアで考古学を実践することの意味を考える。また同時に東南アジアの考古学者が自らの過去をどのように再構成し、そのイメージが現在の彼らの社会にどのように機能しているかを検討する。

### 教材・参考書等

その都度コピーを配布する。

### 成績評価の方法

受講者各自が専門とする地域の過去表象の問題をレポートしたものを評価対象とする。

### 履修上の注意

半期完結の授業構成なので、夏休み前と冬休み後の2回、レポートを提出してもらうので、テーマ設定をしっかりと行ってほしい。

（2学期）

（金曜5限）東南アジア考古学2

### 授業の目標・内容・計画

目標：東南アジア考古学の現場で考古学者が生成する過去表象がどのような政治的問題を引き起こしているかを検討するなかで、考古学の可能性としての新たな問題群の設定と分析手法の模索を目的とする。

内容・計画：最近日本で起きた「過去の捏造」事件を契機として顕在化している問題は、考古学の専門家とアマチュアの対立、自らの過去をめぐって生成されるイデオロギーの磁場と政治性の隠蔽などを如実に露呈した。また現在、東南アジア考古学が自らの「輝ける栄光の過去」を構築しようとしていることに対して、ドミナント社会が本質主義批判を行う際には、政治的な真正性をめぐる対立の磁場を生み出すこととなる。このような考古学の今日的問題の議論をふまえ、ここでは日本と東南アジアの考古学における政治的イデオロギーの問題を考える。具体的には前期授業につづいて毎回の担当者に提題してもらうが、その際担当者は、過去表象をめぐる政治的問題から派生した議論が深められる論文を提示し、活発な討論を導きだすように努力してほしい。

### 教材・参考書等

その都度コピーを配布する。

### 成績評価の方法

受講者各自が専門とする地域の過去表象の問題をレポートしたものを評価対象とする。

### 履修上の注意

半期完結の授業構成なので、夏休み前と冬休み後の2回、レポートを提出してもらうので、テーマ設定をしっかりと行ってほしい。

---

## ○アジア歴史文化論Ⅱ 土佐 桂子（1学期開講・2学期開講）

（木曜4限）上座仏教社会の人類学研究1・2

### 授業の目標・内容・計画

上座仏教社会に関する人類学的文献を講読し、地域の特性を踏まえたうえで、人類学における最近の議論を理解し、異文化理解をめぐるより普遍的な諸問題を考察する基盤を得ることを目的とする。

### 教材・参考書等

使用テキストについては、開講時、指示する。

### 成績評価の方法

通常の授業中の議論への参加、発表、レポートを通じて、総合的に評価する。

## 履修上の注意

---

### ○アジア歴史文化論Ⅱ 今井 昭夫（通年開講）

（水曜2限）ベトナム近現代史研究

#### 授業の目標・内容・計画

ベトナム近現代史研究に関する英語およびベトナム語の基本的な研究書を何冊か読み、ベトナム近現代史の抱えている課題について認識を深める。

#### 教材・参考書等

テキストについては、受講者の顔ぶれ、またその研究テーマなどに応じて、話し合っ決めてたい。

#### 成績評価の方法

授業中の発表・報告と出席状況を総合的に評価する。

#### 履修上の注意

---

### ○アジア歴史文化論Ⅱ 根本 敬（通年開講）

（金曜2限）ビルマ近現代政治史研究

#### 授業の目標・内容・計画

目標：

第1学期は英領期から現代に至るビルマの政治史に関する基本知識を整理しながら、論文講読を通じて重要な論点をとりあげて討論し、また、現在のビルマが直面する政治課題について検討をおこなう。第2学期は、ビルマ国軍と政治との関係に注目し、基本知識の確認をおこなったうえで、問題となる争点を明らかにするべく、論文講読を通じて討論をおこなう。合わせて、今後のビルマが市民社会（多元主義社会）に変化していくことの可能性についても検討をおこなう。その際、フィリピンやタイとの比較にも留意する。

内容・計画：

以下の構成で授業を展開する。

#### 第1学期

- (1) オリエンテーション、東南アジアに関する基礎知識
- (2) ビルマに関する基礎知識（地誌、歴史、民族、文化、歴史）
- (3) 現代ビルマの状況と課題□（軍政の特徴と問題点）
- (4) 現代ビルマの状況と課題□（NLD、少数民族、在外民主化勢力）
- (5) 論文講読①（王朝牧の近代化への努力）
- (6) 論文講読②（植民地支配下の農民反乱）
- (7) 論文講読③（都市部ナショナリズム：GCBAとタキン党）
- (8) 論文講読④（日本占領期と独立後の政治状況）
- (9) 論文講読⑤（政治指導者たちの経済思想）
- (10) 論文講読⑥（境界線上の国民：「英系ビルマ人」の歴史）
- (11) 論文講読⑦（ビルマ式社会主義と軍政下の「開発」政策）
- (12) 論文講読⑧（アウンサンスーチーの思想と行動）

#### 第2学期

- (1) 近代国家における軍とは何か  
（先進国の場合、フィリピンの場合、タイの場合）
- (2) ビルマ軍政の特徴（1988-2005）
- (3) ビルマ国軍の形成史①（植民地期、日本占領期）

- (4) ビルマ国軍の形成史②（独立前後－現在）
- (5) 論文講読①（ビルマにおける軍と社会との関係）
- (6) 論文講読②（ビルマ国軍の軍事規模とその将来）
- (7) 論文講読③（ビルマ国軍のイデオロギー形成①）
- (8) 論文講読④（ビルマ国軍のイデオロギー形成②）
- (9) 論文講読⑤（ビルマ国軍の歴史認識）
- (10) 論文講読⑥（軍政側から見た「国民和解」への道筋）
- (11) 論文講読⑦（軍政下の政治過程と民主化への展望）
- (12) 論文講読⑧（市民社会形成への可能性）
- (13) 総合討論・まとめ

\* 論文講読（日本語および英語）は、受講生による報告（45分）を基本とし、教師による補足説明と質疑応答、討論をその後におこなう。

#### 教材・参考書等

授業で扱う論文については教師のほうで準備する。次の2冊については、必ず購入して読むこと。テキスト兼参考書として用いる。

根本 敬、1996年（2003年第5刷）、『アウン・サンー封印された独立ビルマの夢』、岩波書店、2800円

田辺寿夫・根本敬（共著）、2003年、『ビルマ軍事政権とアウンサンスーチー』、角川書店（新書）、840円

#### 成績評価の方法

授業における発表、質疑応答・討論への参加の度合、学期末レポートの評価を総合して成績をつける。

#### 履修上の注意

ビルマや他の東南アジア諸国を対象に、近現代史や政治・経済・社会に関する修士論文を書こうとする院生はもちろんのこと、他の地域（東アジア、南アジア、ヨーロッパ、北米等）を研究対象にしている院生の受講も歓迎する。クラスでの発言を通じて知的貢献をしてほしい。

---

## ○アジア歴史文化論Ⅱ 菊池 陽子（1学期開講・2学期開講）

（月曜2限）ラオス近現代史研究1・2

#### 授業の目標・内容・計画

歴史的な視点から、現代ラオスの社会・文化的事象をより深く理解することを目標とする。近年出版されたラオスの歴史や文化に関する論文集を輪読し、近年における研究成果を検討しながら、現代ラオスについて考察する。

#### 教材・参考書等

Grant Evans ed. *Laos : Culture and Society* (Silkworm 1999) 又は Mayoury Ngaosrivathana ed. *Breaking New Ground in Lao History*(Silkworm 2002)

上記のテキストはコピーして配布する。

#### 成績評価の方法

出席・受講姿勢・レポートによる総合評価

#### 履修上の注意

受講者の関心にあわせ講読文献を決定するので、受講希望者は初講日に出席すること。

---

## ○アジア政治経済論Ⅱ 齋藤 照子（1学期開講・2学期開講）

（火曜3限）東南アジアの経済と経済思想1・2

#### 授業の目標・内容・計画

独立以降の東南アジア諸国における国民経済構想の特色、またそれ以降の経済政策の変化を世界経済の構造変動との関連の中で理解する。また国際機関、国家そしてNGOの開発思想の変遷を辿る。

#### 教材・参考書等

開講時に参考文献を指示する。テキストはコピーして配布。

#### 成績評価の方法

授業への出席,レポート発表の内容,議論への貢献度などにより総合的に評価する。

#### 履修上の注意

---

## ○アジア政治経済論 II 栗原 浩英 (1 学期開講・2 学期開講)

---

## ○アジア政治経済論 II 左右田 直規 (2 学期開講)

(月曜 4 限) 東南アジアにおける民主化

#### 授業の目標・内容・計画

授業の目標・内容・計画 民主主義や民主化に関する基本的視角を身につけたうえで、マレーシアを中心に、東南アジア島嶼部諸国における民主化の政治力学を、国家と社会の両面から比較検討する。

#### 教材・参考書等

開講時に指示する。

#### 成績評価の方法

口頭発表、議論への貢献により評価する。必要に応じてレポートを課す。

#### 履修上の注意

東南アジア地域研究や比較政治に関心を持ち、議論に積極的に参加する姿勢をもつ学生の受講を希望する。

---

## ○アジア政治経済論 II 宮田 敏之 (1 学期開講・2 学期開講)

(火曜 5 限) 現代タイ政治経済論 1・2

#### 授業の目標・内容・計画

##### ○授業の目標

現代タイの政治経済の動向について、タクシン政権の政策および同政権に対する批判を中心に検証する。

##### ○内容

タクシン政権の経済政策、2004 年に特に強まったタクシン政権への批判、2005 年 2 月下院総選挙結果とタイの政治経済の行方について検証する。

上記の内容に関わるタイ語、英語、日本語文献について授業参加者の発表を中心に、授業を進める。

##### ○計画

主な項目は以下の通りである。

- ・タクシン政権と 1997 年憲法
- ・タクシン政権の経済政策：Dual Track Policies
- ・タクシン政権下の農業関連政策
- ・タクシン政権に対する批判の論調
- ・2005 年 2 月下院総選挙

#### 教材・参考書等

開講時に、指示する。

#### 成績評価の方法

出席、発表、レポートをもとに総合的に評価する。

#### 履修上の注意